

## 繰り返し振動疲労試験機 Repeated Vibration Fatigue Tester

### 用 途

この装置は硬質プラスチック材料の疲労試験機です。  
定ひずみ型疲労試験機と異なり、遠心力を利用した不平衡質量回転型の定応力(荷重)型疲労試験機です。



標準タイプ



恒温槽付

### 特 長

この定応力(荷重)型疲労試験機は、プラスチック材料の疲労試験に適しているとされ、広範囲に利用されております。

又、オプションとして、恒温槽、特殊アタッチメント等も用意されており、様々な疲労試験が可能です。

## 仕 様

最大荷重	下記荷重より1種類選択	型式 B20	型式 B50	型式 B70
	片振り荷重	400N(引張り側)	1kN(〃)	1.4kN(〃)
	繰り返し荷重	±200N	±500N	±700N
	平均荷重	200N(引張り側)	500N(〃)	700N(〃)
繰り返し数	1800cpm			
最大振幅	±8mm			
静荷重設定用 ダイヤルゲージ	1目 0.01mm	全ストローク 10mm		
カウンタ	8桁 単位1回			
過振幅自動停止装置	光电スイッチ方式			
初期異常振幅防止装置	フライホールおよび押さえ方式			
駆動モーター	単相 100V 200W シンクロナスモーター			
電源	単相 AC100V 50/60Hz 15A			
機体寸法・質量	W730×D650×H810mm	約520kg		
参考規格	JIS K 7118 K 7119			

### 特殊アタッチメントによる試験法(オプション)

#### 1.恒温槽による試験法

(イ) 常温+20°C~+150°C

【型式 -TH】

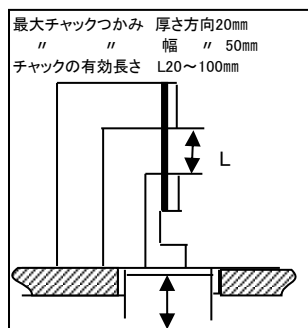
温度精度	±2°C
温度制御	時分割PID制御
ヒーター	カートリッジヒーター 3000W
過昇温防止装置付	ロバートショウ
本体の自動停止装置と恒温槽電源は連動	
恒温槽は、本体に着脱が可能	
恒温槽内側寸法	W360×D245×H255mm
恒温槽外側寸法	W710×D840×H350mm
電源	単相,AC100V,50/60Hz選択式,30A

(ロ) -30°C~+150°C【型式 -TL】

温度精度	±2°C
温度制御	時分割PID制御
冷凍機	AC200V 0.75kW水冷
ヒーター	カートリッジヒーター 3000W
過昇温防止装置付	ロバートショウ
本体の自動停止装置と恒温槽電源は連動	
恒温槽内側寸法	W360×D245×H255mm
恒温槽外側寸法	W1010×D950×H420mm
電源	AC200V,3相,50/60Hz選択式,35A

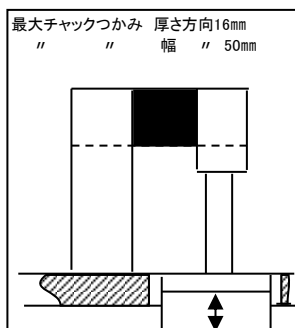
※結露防止用乾燥エア— エア—源0.3~1.0MPa, 入口空気流量93L/min (このオプション付属時のみエア—源が必要となります。)

#### 2.引張り圧縮試験法(タテモミ)

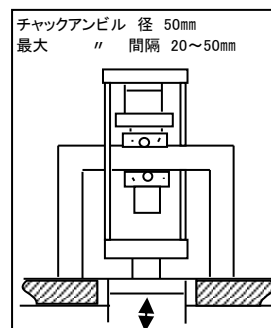


型式  
TC

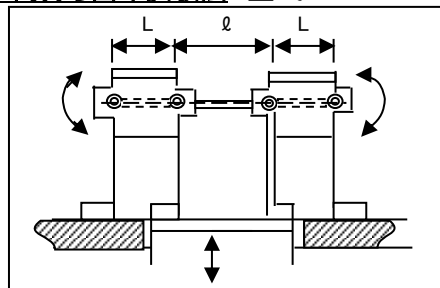
#### 3.ヨコモミ試験法 型式YC



#### 4.圧縮試験法 型式CO



#### 5.両持ち曲げ試験法 型式 W



#### 6.振幅測定(振幅連続自動記録装置) 型式 C

- 静的及び動的な変位値を作動変圧器により検出しデータロガーにて記録。検出した値をPCへ出力させ、グラフ作成
- ・測定範囲 : ±1、2、5、10mm/FS4レンジ切換式
  - ・静的変位測定
  - ・動的変位測定 : 片振幅ピーク値記録
  - ・データ処理 : PC付属。電源 単相 AC100V 50/60Hz 2A
  - データロガー仕様
    - サンプリング周期 1,2,5,10,30,60sec
    - サンプリング数 1~1048576
    - Excel上にデータを転送し縦軸-変位幅、横軸-繰返し回数(対数)のグラフを作成

2021.10

材料試験機の総合メーカー

株式会社 **東洋精機** 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4	TEL 03-3916-8181 FAX 03-3916-8173
大阪支店 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5-3(豊田ビル)	TEL 06-6386-2851 FAX 06-6330-7438
名古屋支店 〒461-0003 名古屋市中区筒井3-30-12(森ビル別館)	TEL 052-933-0491 FAX 052-933-0591

[www.toyoseiki.co.jp](http://www.toyoseiki.co.jp)

●記載内容は改良のため変更することがあります。